

教育シンポジウム in 東京 2019(第23回)

特別支援教育サテライトイベント

特別支援教育の視点を生かした通常学級の授業づくり・学級づくり

— 学習指導要領の記述の充実と取組の実際 —

全ての子供の学びを保障するため、新学習指導要領には、
各教科、困難さに応じた指導の工夫・意図・手立てが明示されました。
「実践と理論」、「授業改革と学級経営」の両面から、その具体に迫ります!



田中 裕一

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課
特別支援教育調査官(発達障害専門)

社会人野球チームに所属経験をもち、特別支援学校、国立特別支援教育総合研究所等で培った経験と研究成果に基づく熱意ある講演が好評。新学習指導要領の考え方について整理するとともに、各教科、困難さごとに指導の工夫と意図と手立てを明示したことの意義と内容をわかりやすく解説します。



奥住 秀之

東京学芸大学総合教育科学系 教授

高校生の頃から「社会的弱者」を支える仕事を志し、現在大学では通常学級で学ぶ発達障害児に関する内容を主に担当。研究者の立場から、発達障害の捉え方や主たる特性について、新学習指導要領との関連から整理するとともに、発達障害のある子供に対する学習・生活指導の原則や集団づくり・学級経営について解説します。



田中 博司

東京都公立小学校 主幹教諭

通常の学級担任を経験する中で、通常の学級の特別支援教育やインクルーシブ教育に関心をもち、実践を重ねている。特別支援教育の視点を授業改善に生かした通常学級における授業のユニバーサルデザインの実践例を紹介。各教科での合理的配慮、個別の指導計画など、授業で具現化するヒントをお伝えします。

プログラム

中央教育研究所ホームページも併せてご確認ください。

【行政レクチャー】

田中 裕一 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官
「新学習指導要領における特別支援教育の展望
— 全ての子供の学びを保障する合理的配慮と授業改善 —」

【実践報告】

田中 博司 東京都公立小学校 主幹教諭
「新学習指導要領 特別支援教育の視点で授業づくり
— 学びに向かえない子、教科のつまづきへの支援を授業改善でどのように具現化するか —」

【講演】

奥住 秀之 東京学芸大学総合教育科学系 教授
「発達障害の理解と学習指導・学級経営」

【トークセッション】 田中 裕一・田中 博司・奥住 秀之

※敬称略

日時……平成31年2月23日(土)

受付開始12:15 開会12:45 閉会16:50 予定

会場……東書ホール(東京書籍) 東京都北区堀船2-17-1

主催……公益財団法人 中央教育研究所(TEL:03-5390-7488)

後援……東京都教育委員会、茨城県教育委員会、神奈川県教育委員会、群馬県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、栃木県教育委員会、長野県教育委員会、新潟県教育委員会、山梨県教育委員会、東京都北区教育委員会(申請中)、株式会社 時事通信社、東京教育研究所、株式会社 学習調査エデュフロント

参加費……2,000円 ※総合プログラム参加者は、1,000円で入場いただけます。

定員……150人 ※定員になり次第締切(定員に達した場合のみ、お断りご連絡をいたします。)
※参加は、教職員、教育行政関係者、学校関係者および学生・院生に限らせていただきます。

申込……FAXまたはメールにて ※総合プログラムの裏面「参加申込書」参照
件名を【特別支援】申し込みとし、お名前・ご所属・ご住所・お電話番号・
e-mailアドレスをご記入の上、お申し込みください。

FAX 03-5390-7489 Mail chu-ken@nifty.com

※ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムの企画・運営に関わる業務においてのみ使用します。

